

質問

# 新年度に生かす 開花八策は何か



今村 定一

## 答弁 新体制と企画政策室が整ってから対応する

**問** 就任時の所信で異例の開花八策論を展開した新町長。新年度事業や予算に反映されていないが、田村カラーを出す時期はいつか。

**答** 私のカラーが出ていないというが、観光政策重視と北陸新幹線開通に即応した町観光の振興策を、年間通して考えていくための予算増額措置を講じたこと。住宅リフォーム支援事業の継続。子育て応援金など示している。

企画政策室の設置後、事業の検討をしたあと、できることから始める。

**問** 町長の言われる施策は主に継続が主体、観光予算の増額も町長の意向が反映されるものか注視

したい。

子ども出生応援金も、人口増加策や若者の定着に生かされないお祝金にすぎない感がある。二入目、三人目につながる応援金の施策が必要だ。

体制が整った後、可能なものは随時施策として実行していくのか。

**答** 私は町の活力を取り戻すことを最重要課題として取り組む所存。言われるように体制が整い、事業を精査した後、今やらなければならぬものは何かを見出し、時期は明言できないが補正を含め実現の方向で進めていく。

**問** 湯沢学園コミュニティ・スクールと学校支援ボランティア運用の体制は整ったか。

**答** 教育長  
学校運営協議会開催後、方針を決定後、活動を開始する。

**問** 学園の開校が目前と迫り、中心的役割を担う学校運営協議会組織の進捗状況をうかがう。

また、オール湯沢で学園を支える応援団組織の進捗状況と、実際の活動を何時から始めるのか。応援団の目標1000人に対し、現況はどのような状況か。

**答** 教育長  
学校運営協議会委員は2月の教育委員会で承認されました。4月中の委員会開催は難しいかもしれないが、早急に委員会を開催しリーダーとなって、支援ボランティアと

同時進行で活動できるように進めている。  
登下校時の見守りは4月9日から活動を開始します。応募状況については、相当数(500人超)に至り、現在集計中です。